

JR東日本におけるデータ連携のユースケース

- 列車の遅れや在線位置などのリアルタイムデータを集約・管理する「リアルタイムデータ連携基盤（RT-DIP）」を構築し、交通案内サービスでの提供を2023年2月に開始。
- 交通事業者のリアルタイムデータを集約し相互利用するほか、交通案内サービス提供事業者へデータを有償提供。
- 公共交通オープンデータ協議会と連携し、リアルタイムデータを主体とした交通案内サービスの更なる向上を目指している。

Q.1 連携対象となるデータ

- ✓ リアルタイムな列車の遅れ時間、在線位置など
- ✓ 各交通事業者からリアルタイムデータを各社フォーマットで受領し、統一フォーマットに生成

Q.3 データに関わるリスク・不確実性

- ✓ 提供する会社が相互にデータの項目、形式等を理解して活用できることが必要
- ✓ ダイヤ改正などに伴う変化に対応し、データ品質が維持されることが重要

Q.2 データ連携の場

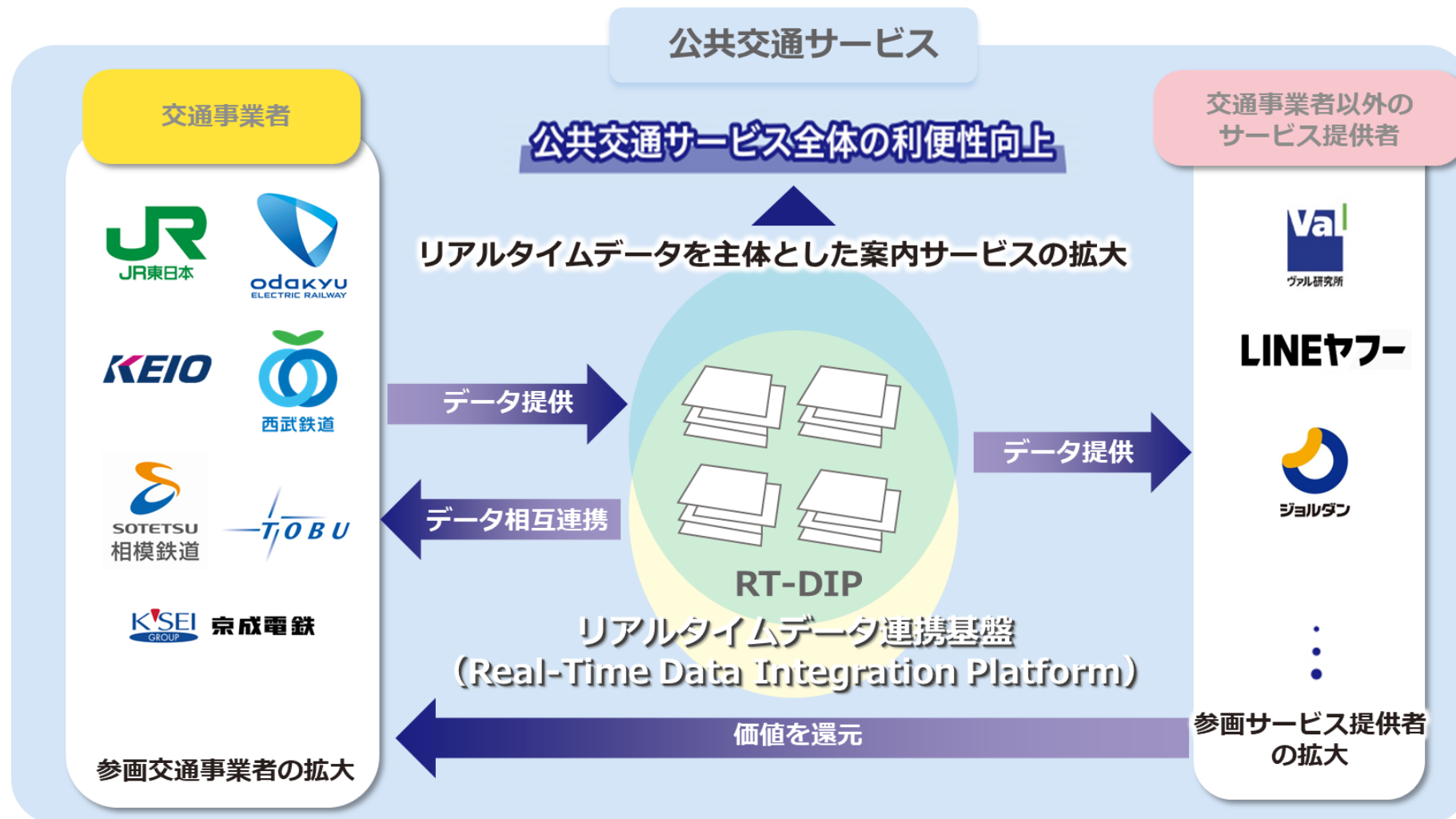
- ✓ 鉄道事業社8社（2024年9月時点）がデータ基盤を利用
- ✓ 各交通事業者とJR東日本が規約を締結して運用

Q.4 リスクに対する対応策

- ✓ 各社独自フォーマットによるデータを理解して共通基盤に収容している。また、国際的なデータ標準であるGTFS形式も推奨されている
- ✓ 移動関連データがデータ提供者などに共有される場合は適切なデータ扱いに配慮する

リアルタイムデータ連携基盤（RT-DIP）

- ・データの相互利用を推進するために、各交通事業者のデータを集約
- ・交通案内サービス提供事業者へデータを有償提供するスキーム



リアルタイム経路検索について

リアルタイム経路検索は鉄道やバスなどのリアルタイムなデータを加味した経路検索。
列車の遅れに合わせ、乗車が可能な乗換列車を案内する。

静的データの経路検索



列車遅延のデータを
経路検索に活用し、
実際に乗車可能な
列車を提案

リアルタイム経路検索



元の時刻

14:55
15:05

列車の遅れを
加味した時刻

リアルタイム経路検索 | JR東日本アプリの例

他鉄道事業者やバス事業者とJR東日本のリアルタイムの遅れ情報を加味した経路検索

リアルタイム検索 走行情報 14:52 更新

南多摩

15:05
15:06
1番線
JR南武線 立川行
乗車時の混雑予測
2番線
15:09
15:10
2駅目で降りる

分倍河原 4分

15:16
2番線
京王線特急 新宿行
乗車時の混雑予測
3番線
15:43
6駅目で降りる

新宿

37分 乗換1回 481円

運賃の内訳を見る

経路検索 運行状況 駅情報 もっと見る

リアルタイム検索 走行情報 11:41 更新

ZOZOマリンスタジアム/京成バス

11:43
当駅始発
京成バス・幕01(幕張本郷駅-ZOZOマリンスタジアム)・幕張本郷駅行
91
11:50
11:51
3番目で降りる

海浜幕張駅/京成バス

11:52 徒歩 2分
11:54

海浜幕張

12:02
3・4番線
JR京葉線快速 東京行 10両
定刻通り
京葉4番線
12:32
6駅目で降りる

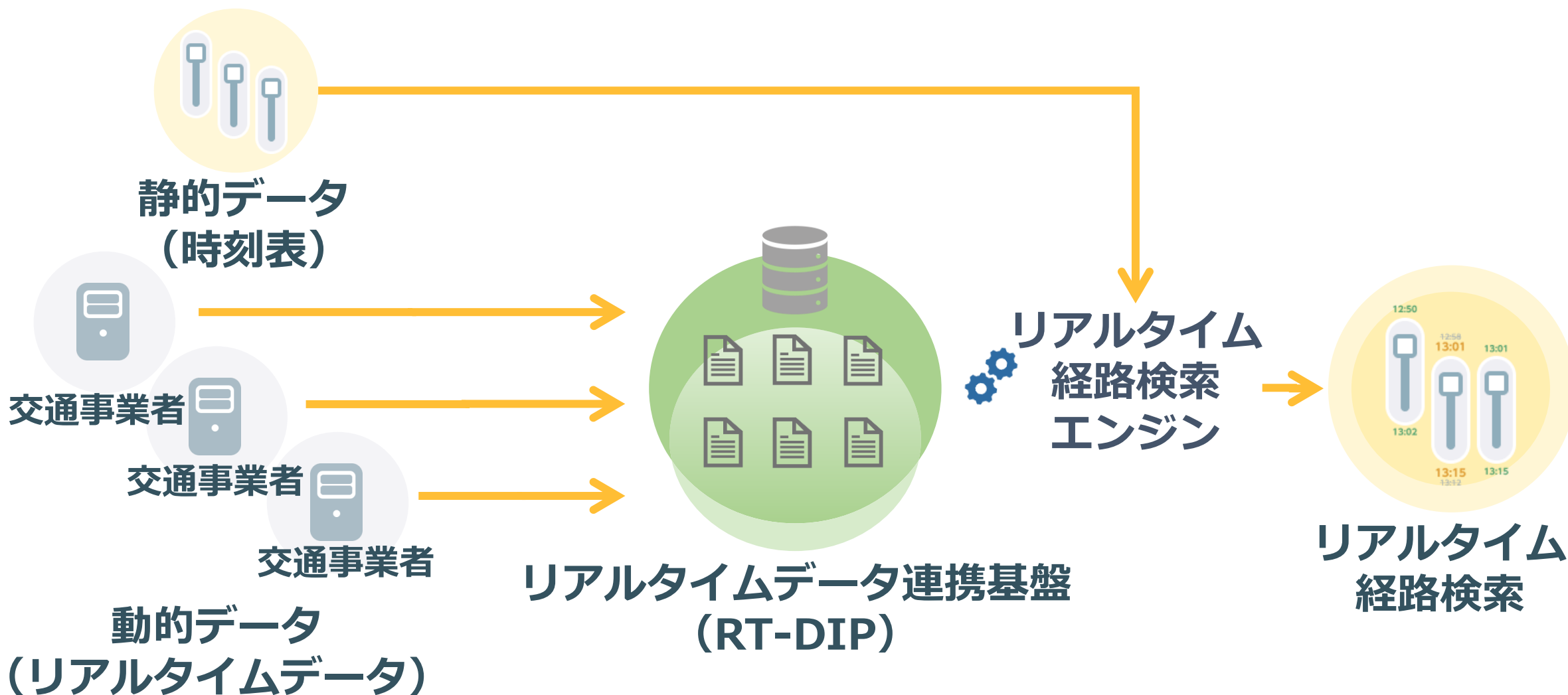
東京

49分 乗換1回 739円

運賃の内訳を見る

リアルタイム経路検索を実現するためのシステム構成

静的データ（通常のダイヤデータ）と動的データ（リアルタイムデータ）を組み合わせることで実現。



リアルタイムデータ連携基盤（RT-DIP）の状況

【2024年9月現在の参画事業者】

- ① 交通事業者：JR東日本、小田急電鉄、京王電鉄、新京成電鉄、西武鉄道、相模鉄道、京成電鉄、東武鉄道
- ② サービス提供者：ヴァル研究所、LINEヤフー、ジョルダン、Apple

【主な機能】

- ① 各交通事業者が持つリアルタイムデータの統一したフォーマットへの変換、管理および交通事業者相互のデータ連携
- ② 経路検索などの交通案内サービス提供事業者へのリアルタイムデータの提供

【課題】

- ① リアルタイムデータ連携基盤の更なる機能拡大、ユースケースの拡大
- ② 交通事業者及び交通案内サービス提供事業者の更なる参画